

受理番号第4号

平成26年8月25日

守谷市議会議長 松丸 修久 様

陳情者

住 所 茨城県守谷市けやき台2-11-3

氏 名 全日本年金者組合 守谷支部  
丸町 芳夫

### 年金削減中止を内閣総理大臣に求める意見書提出に関する陳情

#### 【陳情の趣旨および内容】

- ① これ以上の年金の引き下げは、直ちにやめてください。
- ② 年金引き下げの仕組みである「マクロ経済スライド制」によるさらなる年金引き下げもやめてください。
- ③ 「100年安心」と公言していた国民の汗水の結晶である年金積立金を、危険な株式投資などに投入しないでください。

以上の項目を、市民生活を守るために市議会の名で採択し、内閣総理大臣に意見書を提出していただきたい。

#### 【陳情の理由】

- ① 昨年成立した通称「年金削減法」(平成24年法律第99号)によって、昨年の10月分から、更に今年の4月から、そして来年の4月からと合計2.5%もの年金支給額の引き下げは、低年金者はもちろんのこと全ての年金生活者にとって大打撃です。退職後の生活を考え、現役時代に一生懸命高額の年金掛け金を納めてきました。今のような異常な物価高、消費税増税、介護保険料引き上げの改悪が続く中で、年金の削減を直ちに中止してほしいというのが市民の願いであると思います。
- ② 物価が上がろうが、現役世代の賃金が上がろうが、同じような比率で絶対に年金が上がることにならないシステムである「マクロ経済スライド制」が、初めて発動されようとしています。ほとんどの物価が上がり、消費税増税も上がるのであれば、それに合せて年金支給額も上がるようになるのが、そもそもの仕組みであったはずです。2004年に国民の大多数

が内容を知らされないまま導入された通称「マクロ経済スライド制」の発動をしないでください。

③ 今までも国民から集めた年金積立金を、株式投資などに投入してリーマンショックや急激な株の下落等で大損して、年金財政が苦しいので現役世代が掛け金を上げられ、高齢者は年金支給額を勝手に下げられてきました。今までも、大損をさせても誰も責任をとっていないことに市民は腹を立てています。今までの苦い教訓に学び、国民の財産である、年金積立金をしっかりと守り、本当の「100年安心の年金」にするようにしてほしいと思います。

上記のことを理由に、市議会として総理大臣に意見者を送付していただきたいと切に思うもののです。以上陳情いたします。